

2025 年大阪・関西万博について

平成 31 年 3 月 2 日
本 部 事 務 局

1 一般社団法人 2025 年日本国際博覧会協会の設立

(1) 目 的

2025 年日本国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とする。

(2) 設立日：平成 31 年 1 月 30 日（事務所開設 2 月 1 日）

(3) 事務所：大阪市住之江区南港北 1 丁目 14-16（大阪府咲洲庁舎 43 階）

(4) 役 員

会 長	中西 宏明	日本経済団体連合会会長
副会長	松本 正義	関西経済連合会会長
	尾崎 裕	大阪商工会議所会頭
	黒田 章裕	関西経済同友会代表幹事
	立石 義雄	京都商工会議所会頭
	家次 恒	神戸商工会議所会頭
	三村 明夫	日本商工会議所会頭
	小林 喜光	経済同友会代表幹事
	松井 一郎	大阪府知事
	吉村 洋文	大阪市長
	井戸 敏三	関西広域連合長

(5) 事務局体制

国、経済界、大阪府、大阪市等より職員を派遣

※H31.2.1 時点では、経済界、大阪府、大阪市から職員を派遣（計 26 名）

※国の職員の派遣は、万博特別措置法の成立後を予定

2 大阪・関西万博具体化検討会の開催

(1) 目的

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の具体化及び、開催計画の基本的な方向性を検討し、2020年5月までにBIE（博覧会国際事務局）への提出が求められている「登録申請書」の作成に活用していくことを目的に、経済産業省が設置するもの。

(2) 委員

関係自治体、経済界、学識経験者、文化人など [計 27 名]

(3) 第1回検討会概要

日 時：平成 31 年 1 月 25 日（金）15:00～17:00

場 所：経済産業省 本館 17 階 第 1・2 共用会議室

○出席委員からは、「万博のコンテンツ」、「会場計画」、「交通アクセス」、「広報・PR」、「若者の参画」等、多岐に亘り多様な発言があった。

<広域連合長発言要旨>

- ・(万博は) 常に関西全体の取組ということをお忘れしないで進めていただきたい。
- ・若者の意見を反映できるような仕掛けを作っていただきたい。
- ・2021年に「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」が開催される。
健康という意味で、深いつながりがあるので、この大会の開催をしっかりと万博につないでいく工夫をしたい。
- ・万博のレガシーをどう次世代に繋げていくのかという視点を持ち続ける必要がある。
- ・関西全体で取り組む意味合いから、サテライト会場の設置を柔軟に認めてほしい。
また、万博に来た人を関西のみならず全国に周回させる必要がある。
- ・交通アクセスについて、陸上は全て（陸路でつながっている）東部から夢洲に向かっている。海上アクセスをしっかりと考える必要がある。岸壁があれば神戸から入れる。あわせて、クルーズといった、瀬戸内海をにらんだ発想も必要。
- ・如何に飛行場を活用するか。徳島、白浜を加えた関西5空港をうまく運用できればと考える。
- ・これらの取組が関西全体の浮揚につながると信じている。

(4) 今後のスケジュール

2019年2月～	検討会にワーキンググループを設置
随時	ワーキンググループから各界の有識者へのヒアリング
2019年夏頃	検討会委員への報告、 ワーキンググループ検討結果のとりまとめ
2019年12月	登録申請書提出目標
2020年5月3日	登録申請書提出期限